

第6回 成田市景観まちづくり市民懇談会 会議概要

1 開催日時

平成24年10月29日(月) 午後1時30分～午後3時30分

2 開催場所

成田市花崎町760番地
成田市役所 6階 中会議室

3 出席者 (*職・氏名の記載の順序及び方法は、任意です。)

(委員)

黒田委員代理(宮崎氏)、青木委員、清宮委員、湯浅委員、大野委員、
大木委員、富山委員、山田委員、玉井委員、中山委員、佐々木委員

(事務局)

都市計画課 宇澤課長、藤掛主幹、後藤副主幹、富澤主査、飯嶋主任主事、
古舘主事補

(コンサルタント)

株式会社LAU公共施設研究所 吉岡部長、牧野主任、仁司技師

4 概要

前回の市内景観視察会のまとめと、景観計画策定審議会の報告を事務局より行ったのち、ワークショップ形式で各班(3班)にわかれて、色彩の考え方と色彩基準の設定案について検討を行った。

以下、意見交換された主な質疑応答内容

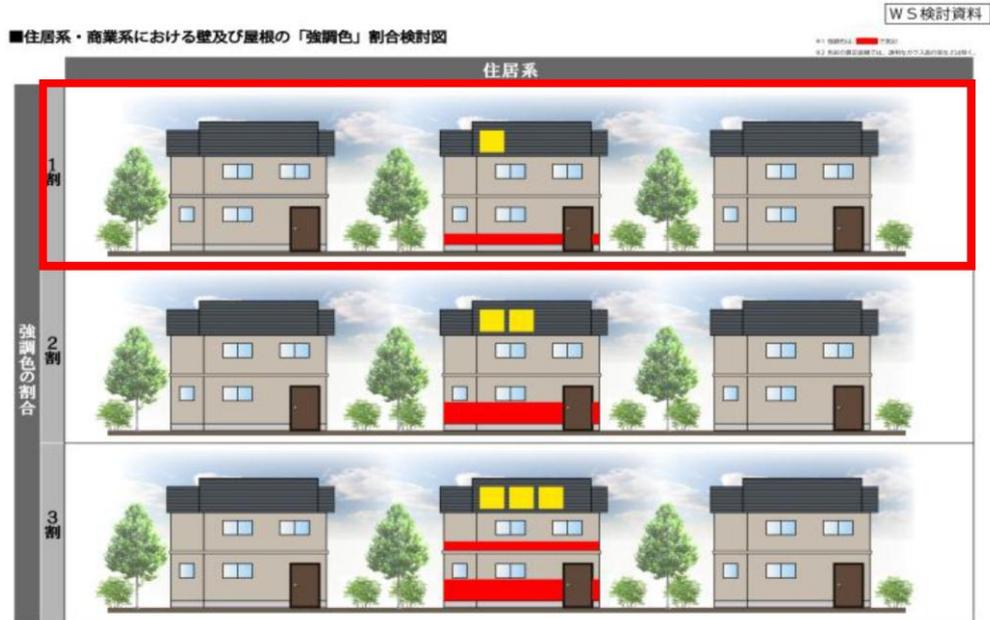
(1) 建築物等の基調色及び強調色の面積割合の検討

別紙ワークショップ資料「住居系・商業系における壁及び屋根の「強調色」割合検討図」を用いて、建築物等における壁及び屋根の強調色の割合(1割～3割)について、各班で検討を行った。

検討の結果、住居系については全員が1割が良いと考え、商業系については2割が良いという意見が最も多かった。



・住宅系



・商業系



(2) 色彩基準の範囲の検討

別紙ワークショップ資料「各ゾーンにおける建築物等の色彩評価」を用いて、建築物等における壁及び屋根の色彩について評価・検討を行った。



(3) 意見内容

まず、基調色と強調色の面積割合についてだが、商業系においては、強調色がどの階層にあるかによって、印象が変わるので、一概に言えないのではないかという意見があり、例えば3階以上は1割、それより低層階は2割以下という意見があった。他にも、商業景観ゾーンにおいて、表参道や門前を考えたら強調色は1割が良いが、商業ゾーンとしてまとめるならば3割がよいのではという意見があった。

次に、色彩基準の範囲の検討についてだが、今回提示した範囲で良いと感じるという意見がある一方で、色彩基準の彩度を一定の幅で切るのではなく、明度の数値ごとによって彩度の幅を広げてもよいのではないかという意見も出た。

また、色彩については、年齢層等によって感じ方が異なり、判断が違ってくるのではないかという意見もあがった。